

東雲

真理の道
誠の道
平和の道



平戸市立度島小中学校
学校だより NO.4
令和8年5月26日
文責:校長 高田 敦

中総体特集号(卓球競技)

23日(土) 平戸市文化センター

港や交流会館に掲示してあるポスターをご覧になられた方も多いと思いますが、平戸市中学校総合体育大会卓球競技が開催されました。

結果は、男子個人3位(〇〇〇〇)、女子団体優勝、個人優勝(〇〇〇〇〇)、準優勝(〇〇〇〇)、3位(〇〇〇〇・〇〇〇〇)でした。参加した10名の選手がそれぞれの目標に向かって戦う姿にたくましさを感じました。平戸市中総体へ向けての取組を通して学んだことを今後の学校生活や進路に生かしてくれるものと期待しています。

なお、女子団体、女子個人上位2名は7月25日から佐世保市で開催される県大会へ出場します。今後ご声援をよろしくお願いいたします。

また、30日(土)にはサッカーのクラブ予選会がライフカントリーであります。出場する選手には、力を出し切って帰ってきてほしいです。



校長室より ~アオハル 心が燃えた中総体~

私自身、今回、初めて中総体に関わり、刺激を受けました。「選手が一生懸命プレーする姿は何よりも美しい、青春っぽい」と、自分の中総体の時を思い出しながら見ておりました。本校生徒の結果はそれぞれでしたが、「やるしかない」と、何かに燃える経験は間違いなく成長させてくれる—そんなことを実感した大会でした。横におられた協会の方が「度島の女子は粒ぞろいですね」と声をかけてくださり、校長としても誇らしかったです。これまでのご指導に、心より感謝いたします。

今大会で得たもの、そして優勝や準優勝といった結果そのものに絶対的な価値があるわけではありません。考えてみてください。どれほど努力しても相手が自分たちより強かったら負けますし、逆に練習を怠っていても、相手が弱ければ勝つこともあります。成長段階にある中学生にとって勝ち負け以上に大切なことがあります。

よく「自分に矢印(ベクトル)を向ける」と言いますが、部活動を通して何を学んだのか、結果に対して何が足りなかったのかを振り返り、それを自分自身に落とし込み、次へと進んでいくことが重要です。

その後の慰労会で、選手に向けた監督の言葉に感銘を受けました。「今回は結果以上に、自分たちで盛り上げ、ハイタッチをかわし、心から声を出して、一丸となって戦っていた。気持ちの面での成長が一番うれしかった」

7月の県大会へ向けて、ここからどこまで伸びていくのか、今からとても楽しみです。

